

# 【2024年10月新着図書案内】

## 情報コーナーに新しい図書が25冊入りました！

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
わたし×IT＝最強説 女子&ジェンダーマイノリティがITで活躍するための手引書	Waffle	リトル・モア	2023	007.3 ヲ	「女性は理工系に不向き？」「IT分野は男性ばかり？」という不安を解消する知識とアドバイスを紹介。「女子だから」にしばられず、あらゆる選択肢を考える。
もう一人、誰かを好きになったとき：ポリアモリーのリアル	荻上 チキ	新潮社	2023	367.9 オ	相手の合意を得たうえで、ふたり以上の恋人やパートナーを持つ—そのような関係性をポリアモリーという。日本に暮らす当事者100人以上に取材・調査してその実態を伝える。
性的マイノリティと国際人権法	谷口 洋幸	日本加除出版	2022	367.9 タ	LGBTQ+の先駆的な100事例を紹介。多様な性のあり方の理解と課題の解決を考える。海外の人権裁判所の判例等の検討を行い、日本の法政策の課題がみえてくる。
後悔しない生き方を選択した女たち	Rashisa出版【編】/明石 奈々/入柿 友香/加藤 広美/金子 真由美/城野 えん【ほか著】	Rashisa出版	2022	159.6 コ	人は毎日、大小様々な選択を迫られ不安を感じる。そんな不安はあなただけではない。21人の女性が、どんな状況でどんな不安を感じ、どんな選択をしてきたのかを紹介。人生の選択に迷った時にヒントになる一冊。
エトセトラ〈VOL. 10 (FALL/WIN)〉 特集：男性学	周司あきら	エトセトラブックス	2023	367.1 エ	「特権」「加害性」「生きづらさ」で終わらない、その一歩先にある「男性性」をみつける特集号。男性の多様さはどこにあるのか考える。
見えない性的指向 アセクシュアルのすべて——誰にも性的魅力を感じない私たちについて	デッカー、ジュリー・ソンドラ【著】〈Decker, Julie Sondra〉/上田 勢子【訳】	明石書店	2019	367.9 サ	性的な関心がない、性的なものに惹かれないアセクシュアルについて書かれた本。アセクシュアルへの理解を深めたい、自分や自分の友人がアセクシュアルだった時にどのように接するかなどを解説。
バトラー入門	藤高 和輝	筑摩書房	2024	367.1 フ	フェミニスト・クィア理論家として有名なジュディス・バトラーが1990年に「ジェンダー・トラブル」を世にとうてから30年。難解な著作であるジェンダー・トラブルを中心にバトラーの理論を著者なりの方法で紹介・解説する。
クィア・アクティビズム:はじめて学ぶ〈クィア・スタディーズ〉のために	新ヶ江 章友	花伝社	2022	367.9 シ	1990年代にアメリカ合衆国で登場したクィア・スタディーズという学問の成立過程を、社会運動との関係から整理するために編まれた一冊。アメリカの歴史とともに紹介。
マンガでわかるLGBTQ+	バレットーク【著】/ケイカ【マンガ】	講談社	2021	367.9 マ	LGBTQ+ってなに？素朴な疑問に19の体験談をマンガを使ってわかりやすく解説。カミングアウトするときされたときの対応や同性での結婚についてなどいろいろな疑問に答える一冊。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
おしゃべりから始める私たちのジェンダー入門—暮らしとメディアのモヤモヤ「言語化」通信	清田 隆之	朝日出版社	2023	914.6 キ	日々を暮らす中で感じたモヤモヤを誰かと話しながら言語化していく営みこそ、ジェンダーという問題に向き合うためのきっかけになるのではないかと著者が2年に渡り書いた44本のエッセー集。
真実と修復——暴力被害者にとっての謝罪・補償・再発防止策	ハーマン, ジュディス・L 【著】/阿部 大樹【訳】	みすず書房	2024	326.9 ハ	心理的外傷から回復していく途上、難しい問いがさまざまに浮かび上がってくる。皆の前でこのことを話せるか？真実を、周りのひとは受け止めてくれるだろうか？など暴力被害者が何を求めているのかを考える。
性暴力の加害者となった君よ、すぐに許されると思うなかれ	齊藤 章佳/にのみや さをり	ブックマン社	2024	368.6 サ	依存症専門クリニックで、性加害者への再犯防止に取り組む齊藤氏。再犯防止には被害者をする必要があると感じ、性暴力被害者であるにのみや氏と性加害者との対話が始まる。
性暴力についてかんがえるために	齋藤 梓	一藝社	2024	368.6 サ	関係性の中で行われるために、それが暴力だということに気づきにくい「性的グルーミング」、性暴力における「抵抗」・「相談することの難しさ」の問題などについて考える。
あのね、ほんとうはね 言葉の向こうの子どもの気持ち	副島賢和	へるす出版	2021	378.4 ソ	院内学級に勤める著者が子どもたちからの様々な声を紹介。読者とその目の前にいる子どもたちとの関わりを考えるヒントになればと書いた一冊。
ノンバイナリースタイルブック	山内 尚	柏書房	2024	367.9 ヤ	ほとんどの服を扱うお店ではメンズとレディースに分かれている。ノンバイナリーにとっての服とはなにかについて、マンガやイラストを用いて、わかりやすく伝える一冊。
言えないことをしたのは誰？〈上〉	さいきまこ	現代書館	2024	726.1 サ	性暴力の常習教師に、校内で孤立しながら立ち向かう生徒の物語。加害教師を追求し、加害者の思いを掘り上げることができるのか。スクールセクハラ（学校内の性暴力）を描いた作品。
言えないことをしたのは誰？〈下〉	さいきまこ	現代書館	2024	726.1 サ	性暴力の常習教師に、校内で孤立しながら立ち向かう生徒の物語。加害教師を追求し、加害者の思いを掘り上げることができるのか。スクールセクハラ（学校内の性暴力）を描いた作品。
すきって いわなきゃ だめ？	辻村深月 作/今日マチ子 絵/ 瀧井朝世 編	岩崎書店	2019	E ツ	「すきなひとじゃないの？」ときかれた主人公が、幼いながらもすきというきもちについて戸惑いながら考える。
かんテキ産婦人科 - 患者がみえる新しい「病気の教科書」	鈴木俊治/豊島将文	メディカ出版	2023	495 ス	助産師・ナースをはじめとする医療スタッフ向けに、妊産婦・患者ケアのポイントを徹底的にみえる化し、疾患・患者・看護・観察が感覚的にわかる教科書。
にじいろのしあわせ	ブンド, マーロン (Bundo, Marlon) /トウィス, ジル【作】 (Twiss, Jill) /ケラー, EG【画】 (Keller, EG) /服部 理佳【訳】	岩崎書店	2018	E マ	カメムシに普通ではないと言われ、結婚を止められたうさぎのマーロンが仲間のサポートをうけ、“ふつう”について考える。
だいじ だいじ どーこだ？	えんみ さきこ【作】/かわはらみずまる【絵】	大泉書店	2021	E エ	子をもつ著者が日々のコミュニケーションのなかで、自分のからだが大切であること、そして、自分以外の人のからだも大切であることを伝えるきっかけになればと書いた一冊。

書名	著者名	出版社	発行年	分類	内容
トランスジェンダーと性別変更	高井 ゆと里【編】	岩波書店	2024	367.9 タ	「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」における「トランスジェンダーの人々が戸籍に登録された性別を書き変えるための条件」などについて考える。
選択的夫婦別姓 これからの結婚のために考える、 名前の問題	寺原 真希子/三浦 徹也	岩波書店	2024	324.6 テ	日本では、夫婦は必ず同じ姓を名乗らなければならない（夫婦同姓）という法律がある。実は、このような決まりがあるのは、世界中をみても日本だけ。当たり前や普通と思っている問題を考える一冊。
選択的夫婦別姓は、なぜ実現しないのか？—日本の ジェンダー平等と政治	ジェンダー法政策研究所/辻村 みよ子/糠塚 康江/大山 礼子 【編】	花伝社	2022	367.2 シ	選択的夫婦別姓は、なぜ実現しないのか？、どうして日本のジェンダー平等がこんなにも進まないのか、この遅れはどこからくるのか複数の執筆者とともに現状と課題を探る。
出世と恋愛—近代文学で読む男と女	斎藤 美奈子	講談社	2023	910.2 サ	近代日本の青春小説は主人公である青年が告白できずにおわってしまうことが多い。恋愛が成就してもヒロインは若くしてなくなってしまふ。このような結末が多い理由を時代の影響などを交えて解説していく。